

# JAITI 48

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 公益財団法人 日本農業研修場協力団  
事務所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5  
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

## 今日のジャイチ

今回のノーベル平和賞は、史上最年少の十七歳のマララ・ユスフザイさんが受賞しました。「私たちが求めているのは特別なものではなく、本とペンだけだ。」マララさんは、パキスタンで女子教育の権利を訴え、全ての子どもたちが教育を受けられるよう世界に呼びかけました。

日本では、子どもの頃から教育を受けることは当たり前のことになっていきます。しかしながら、世界の国々の中には学びたくても学べない環境にある国がまだまだたくさんあります。貧困や因習、男女差別など、その原因は様々だと思えますが、「一人の子どもが危機にあるということは、全世界が危機にひんしていることだ。」と、共に



▲スポーツ大会の表彰式でトロフィーを受取る生徒(ブライター学校)

平和賞を受賞したインドのカイラシュ・サトヤルティさんも、教育は平和の基盤である、とその重要性に触れています。ジャイチが取り組んでいる教育支援も、広い世界から見ると小さな活動かもしれませんが、平和に貢献することを願いつつ、今年も地道に歩んでいこうと思えます。ご協力のほどをよろしくお願いたします。

### ◆着々と進む学校整備

今年度の入学者数は、レカリ・バシファント学校が五〇一人(男二四三人・女二五八人)、カカニ・ブライター学校が三〇五人(男一五四人・女一五一人)と、昨年度末に比べてレカリ・バシファント学校で三二人、ブライター学校で十一人の増となりました。また、女子は前年より三七人も多く入学しており、生徒の男女比が半々ということからみても、ネパールでは女子教育や低階層にある人たちの教育に政府が力を入れている結果でもあり、女子の教育に対する関心は高まっているものと言えます。

しかしながら、制度的にはすべての子どもが教育を受けることになっているとはいえ、まだまだ、教育を受けられない環境にある者がいるのも事実です。ジャイチが築いてきた学校においても、こうして生徒を受け入れ、教育の質をいかに上げて行くか常に考え努力しています。(二面を参照)

学校は、地域の父兄で構成する学校管理委員会(SMC)などの地元が主体となって運営を進めて行くことを前提にしています。ジャイチとしても、教室な

どの施設、教育器具の配備といった、いわゆるハードな部分の整備に際しての支援を念頭に、今年度はカカニ・ブライター学校では、新たな教室の増設も完成して、これまでの手狭な教室の環境が改善されました。一方で、レカリ校においては、暗い教室で勉強に取り組んでいる子どもたちの姿があります。初等教育の必要段階からスタートしたジャイチの学校も、ネパールの教育制度の進展に沿いながら、これからも、子どもたちが教育を受ける機会を損なうことのないよう、ジャイチ・ネパールと連携して進めて行くことにしています。

### ◆ジャイチツアー 催される

前年に続き第九回目となるスタディツアーは、去る十月三十日から十一月八日までの十日間の日程で、五名の参加者により行われました。

少人数ではありますが、家族的な雰囲気の中で和気あいあいとネパールの旅を楽し



▲ボカラのサランコト頂上にて

んでいたいただきました。滞在中は天候にも恵まれ、エベレストを頂点とするヒマラヤの峰々や、ポカラでのマチャプチャレの眺望に感嘆し、また、学校訪問では全校をあげて盛大な歓迎をいただき、その上、ブライター学校ではスポーツ大会などの学校行事での表彰式に参加させていただくなど、通常の旅行では味わうことのできないひと時を過ごし、カメラにも収めきれないほどの思い出を抱えて、無事に帰国しました。

## 教育の質を 高めるために 二つの教室

レカリ・バシファント校では、現地のSMC(学校管理委員会)が六カ月をかけて、みずずホールの隣に建設を進めていた校舎が、昨年八月に完成しました。

バシファント校では、これまで食堂を利用して通常の教科の他の授業を行っていましたが、この校舎の完成により二つの教室が確保されることとなりました。この長く待ち遠しかった施設の建設にあたっては、



▲新しい校舎

ジャイチネパールの連携で文部省から七十五万ルピーの支援金と、現地の組合が集めた四十一万五千ルピー、計百十六万五千ルピーの工事費と、さらに、マカンプル郡のRADO(田園開発団体)というNPOが、建物の設計・監督に協力してくれました。工事の管理は、学校管理委員会が行いました。

なお、文部省からの支援金は、ネパール政府のSSRP(学校部門改良計画)予算から支出されたものでした。

新築された教室は、教科外の授業はもちろん、多目的に活用されています。

## 読書センター

学生たちの勉強に

も効果が期待できるとして、読書センターを作ることにしました。

特に、新聞とマガジン等を読むために、しかも、太陽の下で読書できるようなと、学校の事務所の前の空いているスペースに東屋風の建物を建設しました。

二万五千ルピーの建設費用は、学生・教師たちが自分たちで集めました。

これらの施設の新築で、学校の学習環境がより向上しました。

(ビム・ラル・グルン)



▲読書センター

## リトル・エンジェル・スクールの生徒達が カカニ・ブライター学校を訪問

リトル・エンジェル・スクール(以下L.Aスクール)はカトマンズだけではなく、国際的にも評判の高い学校です。大きな学校施設と素晴らしい学習環境を備えて、幼児期から修士レベルまでの教育を行っており、カカニ・ブライタースクールもこの学校と姉妹的な連携を進めていこうとしています。

②地域の人の収入調査グループ

地域の生徒や村民から、イチゴ栽培と農業、送金、商売をはじめ、全国的な問題である少女密売などを聞き取り調査しました。

③ダンスと音楽グループ

踊ること歌うことの意味や効果について話し合いながら、皆で協力しているいる民族音楽カルチャープログラムを発表しました。

④園芸クラブ

荒地の下草刈りや植樹、畑の造成、除草などによる環境保全と緑化について、話し合いと実践をしました。

この訪問のプログラムで次のようなことを学びました。

①学究的クラブ  
学習についての経験のシェアリング、評価方法、インターネットの使い方や啓発ビデオを使ってエボラウイルスや地震の心構えを教えたりしました。

最新の、例えばエボラウイルスについての情報を知らせる。

園芸等を通して、肉体的な活動をする。

環境を守るためにできることを何でもする。

教科外の活動に参加する。

他の大会など

る。ダンス、スポーツや他の大会など

協働活動を向上させる。

L.Aスクールの生徒たちの訪問は三日間で終了しましたが、訪問した生徒たちはカカニ・ブライター学校の生徒やその家族の人たちとの旅を楽しんでとても喜んでいました。また、研究活動に協力してくれたブライター学校の生徒や先生にお礼の言葉がありました。ブライター学校も、有意義な訪問をいただいたことやいろいろな教材、スポーツグッズをいただいたことに感謝しました。

(ビム・ラル・グルン)



▲校内の下草刈り等の作業

# ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

2014年6月21日～2014年12月20日迄 順不同 敬称略

## ◆ 人的協力

〔群馬県〕

島田寛治、島田昌俊

〔東京都〕

金子仁乃、川口律子、滝和美、田山豊實

〔長野県〕

白井千鶴子、柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建、清住栄子、有限会社佐藤新聞店、有限会社大和印刷、出浦喜丈、滝沢千栄子、田村由紀子、長野合同

經理センター、根岸厚次・真貴子、松久よし子、宮入

〔北海道〕

小野倫夫、茅野達一郎、串田長久、中川洋子、服部昌男、山口斌

〔岩手県〕

〔宮城県〕

笠原直枝

〔茨城県〕

森甲志

〔栃木県〕

川秀雄、藤井秀雄

〔群馬県〕

蔵前産業株式会社 社会長橋本勝、島田寛治、橋真智子、塚越雅幸、堀越利通

〔埼玉県〕

小沢昭信、齊藤節子、嶋田信子、須田清

〔千葉県〕

青木洋、高橋節子、武藤貴子、中根正義、吉村芳江

〔東京都〕

朝倉政雄、イメージブレーン 千原卓司、株式会社ウエック・トレック 稲村道

正法

〔愛知県〕

後藤多恵子

〔和歌山県〕

大野亮道

〔海外〕

ネパール

ホテルサンセツ

トビユー・アルジュン・シン

ン/絃子・トラチャン

◆ 基金・維持費・事業費

〔北海道〕

〔宮城県〕

〔茨城県〕

〔栃木県〕

〔群馬県〕

〔千葉県〕

〔東京都〕

〔岩手県〕

〔宮城県〕

〔茨城県〕

〔栃木県〕

〔群馬県〕

〔千葉県〕

〔東京都〕

〔岩手県〕



カトマンズ盆地バクタブル町のネワリ少女 絵 マン

「カトマンズ盆地バクタブル町のネワリ少女」 絵 マン

## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。

皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

### ジャイチの基本的財源として

一般寄附とは、皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れたいたします。基金は、投資信託、外債、国債などで運用し、その果実(利息)でジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

### 特定寄附金の募集

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時に、その応援費用として確保することを目的としています。

■ 特定の事業において、資金が必要なときに皆様をお願いのお知らせをさせていただきます。

### 所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

#### ● 個人の方が支出する寄附金の場合

所得税について ①、②のいずれかを選択してください。

##### ① 所得控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職所得金額又は山林所得金額より控除できます。(但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。)

##### ② 税額控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。(但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。)

ジャイチよりお送りする「税額控除に係る証明書の写し」を申告書に添付してください。

#### 住民税について

その年中に支出した寄附金の合計額より5千円を差し引いた金額に控除率を掛けた金額が所得金額より控除できます。(但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の30%を超える場合は所得金額の30%を限度とします。)

※尚、住民税の寄附金控除の対象は各県又は市町村の条例で指定された寄附金のみが対象となりますのでご注意ください。

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。

(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

#### ● 法人の方が支出する寄附金の場合

一般の寄附金とは別枠として{(資本金×0.25%+課税所得×5%)÷2}の金額が損金算入されます。

申告書の記載等、一定要件を満たす必要があります。

#### ● 遺産相続時による寄附

遺産相続した方が遺産の一部を寄附した場合、寄附金額全額が、課税対象金額より除外されます。

寄附金の金額についての規定は、ありません。お一人お一人ご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。

### 郵便振替・銀行振込での募金

■ お振込先 ◎郵便振替 00510-4-65434

◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577

口座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

子、大田原房子、岡田信一、尾身恭子、鎌倉恵子、鎌田はなよ、河野節子、黒田秀基、木村武彦、木村慈子、須藤節子、滝和美、高橋伸也、中嶋いづみ、仲吉智子、西岡巖、西重正博、野村明賢、正田英子、松田重箕、守屋照美、山縣敏子  
 〈神奈川県〉  
 石上昌子、河津春子、河津誠、河津八重子、木上マツ、小金井雅純、小林みよ子、島田正義、有限会社中川緑花園、堀内弘栄、丸山進治・佳子、安延義弘  
 〈長野県〉  
 株式会社アオヤギ印刷、有限会社イーグル開発、有限会社うずら家徳武敏幸、内山富之、小山田秀士、金子元昭、菊池健介、北澤純一、久保田寛人、高本洋子、小林淳、小林展子、小林康、国際交流フェスティバル in SAKU、国際交流フェスティバル in MA RUKO、澤山啓司、鈴木かけよ、司法書士竹内克彦、武田順治、株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、長野県連合青果株式会社、中村彰、舟木公栄、増田シゲミ、松久よし子、丸山幸雄、宮澤令行、宮下静子、柳澤利文、山崎やす、山越好彦、ジャイチ事務所 寄付金箱

〈新潟県〉  
 小森修  
 〈福井県〉  
 金森朗子  
 〈静岡県〉  
 伊熊武夫、岸本峰子、山梨加代子  
 〈愛知県〉  
 伊藤正裕、尾上昇、神田孝子、小蘭四男  
 〈滋賀県〉  
 岡田千尋、田中健晴、松延宏昭  
 〈兵庫県〉  
 新海泉  
 〈和歌山県〉  
 中前孝啓  
 〈愛媛県〉  
 和田勝利  
 〈鹿児島県〉  
 福吉巧  
 〈ネパールへ直接〉  
 滝和美グループ  
 〈北海道〉  
 菊池隆司  
 〈福島県〉  
 岡村健  
 〈埼玉県〉  
 嶋田信子  
 〈千葉県〉  
 竹部愛子  
 〈東京都〉  
 内山洋子、鎌倉恵子、川口律子、坂本千春、滝和美、田山豊實、天明、西重正博、ネパールの子供達に文

具を届ける会小山恵美子、村上祥子、山縣敏子、山田まゆみ  
 〈神奈川県〉  
 川口朗子、橋本敬子、吉川卓子  
 〈長野県〉  
 あーすの会金澤悦子、白井千鶴子、有限会社美ヶ原燃料、加藤美幸、菊池健介、清住栄子、小林久雄、有限会社大和印刷、信濃ニット古屋智恵子、田村由紀子、長門郵便局、長和町大門支所、舟木公栄、依田窪南部中学校ポランティア委員会、松久よし子  
 〈愛知県〉  
 伊藤正裕・多恵子、小園四男  
 〈滋賀県〉  
 苗村善和  
 〈兵庫県〉  
 丸尾信  
 〈和歌山県〉  
 大野こまさ・亮道  
 〈高知県〉  
 前田和美  
 〈鹿児島県〉  
 〈ネパールへ直接〉  
 滝和美グループ、滝三希子、滝本美恵子

◆ 寄附品

ありがとうございます  
 今後とも宜しくお願いたします。

ジャイチツアーに参加して  
 後藤 多恵子

今回、ジャイチツアー「ネパールの農場と学校訪問の旅」に参加させていただき、感動すること、感謝することばかりでした。まず、はじめに訪問したレカリ・バシファント学校でのレカリ校舎を見てびっくりしました。電灯は無く、窓はほとんど無く、雨降りの暗いときは大丈夫だろうか、また、真夏の暑い時とか真冬の寒い時はどうだろうかと考えてしまいました。現在の日本においては、冷暖房完備、明るさも十分の中で学校生活を送っているところが多いのに。



▲レカリ校の教室で授業を見学

つぎに訪問したカニ・ブライター学校へ行ったときは、校庭へ入る時、全校児童が花道を作り、そこを通るとき各々から花をいっぱい

ただき、その後、マリールゴールドで作った花輪を首にかけてもらい、さらに、全校生徒（幼稚園児から十年生）の子どもを一堂に集め、そこで民族舞踊を見せただけではありません。今までこんな経験をしたことがなく、とても感動しました。また、ブライター学校の近くの農園にキウイの木が植えてありましたが、他には作物が無く残念に思いました。しかし、近くの畑には日本の方の指導のもと、イチゴが栽培されていて、とても立派なイチゴがなっていました。

ネパールの国民性かと思えますが、山間地の方々は、道路に面したところ、のんびり、ゆったりとしていました。日本人も、あくせく働き過ぎず、少しは生活も大切ではないかと思えました。しかし、カトマンズの市街地は、オートバイ・車があふれていて、信号もなく、人は上手に横断していました。山間地とのギャップの大きさには少し驚いています。現地の方も言っていますが、支援に頼るばかりでなく、自立していく力も育つことを願っております。日本の子どもたちは恵まれて生きていて、このような生活を見ることも必要ではないかと思えました。



▲生徒が下校でグラウンドに集合したところで、ツアーのメンバー紹介が満開である (バシファント学校)

(愛知県名古屋市)



▲スポーツ大会の表彰授与者として参加した筆者の島田さん。

ジャイチツアー

# 輝けるカカニ・ブライター 学校を見た

島田 寛治

国連の国際ガールズデーに合わせて東京で開催された記念フォーラムに参加したネパールの十六歳の少女と十四歳の少年は、同国少女の早すぎる結婚問題を訴えました。

ユニセフの統計では、ネパールでは十五歳までに一割、十八歳までに四割の女性が結婚するという。

今回のツアーでは特にネパールの子どもの姿に注意しました。制服を着て三々五々登校する生徒達は生き生きしていました。一方、学齢期の少年少女が昼間家業の手伝いや子守など

けました。

お釈迦様の生誕地ルンビニで五歳くらいの子が乳飲みと思えるほどの妹を抱えて物乞いをしているのを見た時は、胸がつぶれる思いでした。

ポカラでは、ジャイチネパールの案内でチルドレン・ネパールを訪問しました。この団体は、社会の底辺で生活していて学校に行けない子どもたちとその家族を支援し、職業訓練や自助援助などを行っています。

学校訪問では、まず、レカリ校に行きました。電気もなく窓一つない教室で、生徒は入口と裏口の扉を開け放って明かりを採り勉強しています。せめてガラス窓を付けてやりたいと切実に思いました。

次に、ジャイチが最初に設立したバシファント学校を訪問しました。ティハール祭の期間だったため、自主登校で生徒数は多くありませんでした。一年生の教室は靴を脱いで入り、机はなく、板張りの床に一枚の長座布団を敷いて、三人座って授業を受けていました。先生も長座布団に座って授業です。床にノートを置いて、低くかがんで字を書いていました。二年生以

上は机があります。将来何になりたいか聞いたたら、パイロットとかナースとか頼もしい希望が語られました。

この学校で全校生徒の前に私は短い英語のスピーチをし、「自分を敬え・友を敬え・仕事を敬え」と話しました。

次の日はカカニ・ブライター学校を訪問しました。名前どおり輝いています。ジャイチの総力を挙げての結晶で、実にモダンな学校です。多分ネパール一の学校だと思っています。

昨年十年制になって最初の卒業生のうち十四人が受験したSLC(学校卒業国家検定試験)は、全員合格という好成绩でした。

全校集会で運動競技の成績優秀者にノートと鉛筆、各種メダル、最後に優勝した生徒たちに優勝杯が授与されました。私たちもプレゼンターになり、いい経験をさせてもらいました。

その後、生徒有志による民族ダンスが披露され、その素晴らしい踊りに魅了されました。実に都会的なものでなりました。ジャイチ発起のカカニ実験農場は役割を終え、荒涼とした圃場が残っているのみでした。仏陀生誕地ルンビニ、カトマンズの古寺院群、サラ

ンコットから見たマチャブチャレとアンナプルナ連峰、飛行機から見たエベレストの感動を書くのは残念ながら割愛します。

(群馬県高崎市)



▲マウンテンフライト  
これからエベレストに向かって乗り込むところ



▲ダマンに向かう途中、象に出会う。  
触らせてもらってご利益を願う。



▲平和の火の手前に最近建てられたと思われる  
ブッタの幼少の像(ルンビニ)

## カトマンズ寸景

首都カトマンズ市内の道路には、自動車、オートバイが溢れています。間隙を縫って至るところから車が割り込みをし、クラクションがけたたましくなり渡り交通秩序があるとはとても思えないのですが、これまで衝突事故や運転手が怒鳴り合っている姿を見たことが無いのが不思議です。国民性がなせる技なのか「あうん」の呼吸には感心します。かつて日本のJICAボランティアが交通管理を指導し、分離帯の設置や交通マナーの改善に取り組んだ成果はいかされていますが、場所によって信号機が設置されているものの、電力不足の影響なのか点灯するものはほとんどなく、警察官が交通整理に当たっているのが現状です。やはり人には人の力が合うのでしょうか。



▶車と人の整理は、やはり人でなければダメのようだ。馬上の警官がらみをかき分けて、秩序を保っているように見える。

# 事務局だより

## ▼ジャイチ


- 7月 ・機関紙47号の作業と発送
- 8月 ・国際交流フェスティバル in Maruko参加団体会議に出席
- 9月 ・国際交流フェスティバル in Maruko参加団体会議に出席
- 10月 ・内閣府の立入検査  
・ジャイチツアー関係手配・準備  
・国際交流フェスティバル in Maruko参加  
・第19回ジャイチツアー実施
- 11月 ・国際交流フェスティバル in Saku参加
- 12月 ・理事会 平成26年度上半期事業報告等  
・機関紙48号企画・編集

## ▼ジャイチネパール

- 7月 ・一学期定期試験実施  
・両学校夏休みに入る  
・ブライター学校のSLC優秀合格者2名に高校進学奨学金受給の申請
- 8月 ・両学校の増築・新築教室工事を完了  
・ブライター学校SLC卒業生の送別会・教育の質向上のため各教室に「学習出力」制度開始  
・リトル・エンジェル学校の設立者とロータリークラブの会員がブライター学校訪問
- 9月 ・レカリ・バシファント学校SLC追加試験8人合格  
・警察本部長ブライター学校訪問  
・ヘタウダ郡の教育事務所長バシファント学校訪問
- 10月 ・デザインとティハール祭休暇  
・両学校スポーツ大会・クイズコンテスト等実施
- 11月 ・ジャイチツアー案内  
・リトル・エンジェル学校の生徒35名がブライター学校を訪問し3日間、研究活動を実施

二代目理事長  
**室賀弥三郎さん**  
ご逝去

初代小林茂夫理事長の後任として平成六年から同十四年までの八年間、ジャイチの理事長を務めていただきました室賀弥三郎さん（長野県上田市）が平成二十六年十一月二十四日、享年一〇一歳で逝去されました。室賀さんは長野県の大要職を歴任され、その経験を活かされてネパールでの農業農村の振興、教育基盤の充実にご尽力をいただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



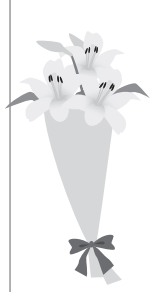
## 世界に目を向ける 第二步



ジャイチ事務局の近くにある依田窪南部中学校のボランティア委員会の代表が、ボランティア活動で集めてくれた文房具や使用済

み切手をジャイチに届けてくれました。当中学校では、これまでも卒業時に不要になったカバンを集めてバシファント学校の生徒に利用してもらう活動を続けていただきましたが、この日は、授業終了後に委員会の小山委員長、柳沢副委員長が笠井先生と一緒に事務局を訪れ、「ネパールの子どもたちのために役立ててもらえたら」との思いがこもった数々の品物を提供していただきました。こうした活動を通して国際感覚を育てたいと思っております。ありがとうございます。

## 募集予告



ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。  
小林美智子様 群馬県館林市 十四年一月  
猪爪 八重様 東京都 十四年七月  
竹村 好平様 長野県上田市 十四年十一月  
室賀弥三郎様 長野県上田市 十四年十一月

## 第二十回

「JAITIネパールの農場と学校訪問の旅」  
◆日程 十月下旬から 八泊十日の予定

## ◆旅行代金

お一人様三十万円の予定  
全行程中の交通費（航空機はエコノミークラス）、宿泊、食事を含まず。但し日本国内の交通費と海外旅行保険は別途になります。

## ◆最小催行人員 十名

## ◆企画 ジャイチ

## ◆主催 (株) 西遊旅行



エベレストの勇姿を真近に望む

## お願い

ネパールへのジャイチの荷物運搬（主に学校の布カバン・文房具等）のお手伝いをしてくださる方は非ご連絡下さい。

## 編集後記

昨年、長野県は様々な災害に遭遇しました。二月の大雪、六月の土砂災害、九月の御嶽山の噴火、十一月の地震と、よくもこうした自然災害が続いたものです。尊い命を奪われた方々、愛する家族や親しい友人、長年住み慣れた家を失われた方など、被災されました皆様方には心からお見舞いを申し上げます。自然現象の計り知れない威力には人間は無力であることを思い知らされます。地球の歴史から見たら幾度となく繰り返してきたことですが、予期せぬ出来事に終わらせずに、自分を守る判断を養っていきたいのです。

また、惑星探査機が地球の誕生を知る手掛かりを求めて飛び立ちました。災害予知もつかんでくれるとありがたいのだけど、オゾン層の輝く信州の冬の夜は、やっぱり寒いのです。

集めています	
文房具	定規/三角定規 ▶レカリ・バシファント学校とブライター学校用
毛糸	帽子を編みます 編みぐるみ・タワシなど ▶レカリ・バシファント学校1・2年生用 ▶バザー出品品を作ります
布	通学カバンを縫います ▶レカリ・バシファント学校低学年用
書き損じハガキ	切手に替えます(未使用ハガキ・年賀ハガキの余りも歓迎) ▶通信費として活用します。
古切手	換金します(未使用切手も歓迎) ▶ネパールの両学校の運営費(切手の周りを5ミリ残してください)
手ぬぐいタオル	未使用のもの ▶ネパールの学校用ほか